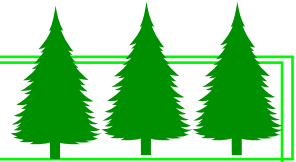


# みつぎ便り



第174号 3月号 令和3年3月1日発行 [http://itbs-ecopo.jp/environsurvey\\_report](http://itbs-ecopo.jp/environsurvey_report)



板橋区役所みどりと公園課の花づくりグループとエコポリスセンターのかんきょう観察員地域自主活動グループに所属しているボランティア団体「見次の会」です



## ニホンズイセン(日本水仙)

スイセンの花は冬から早春にかけて線形の葉の間から伸びた花茎の先に黄色い筒状の副花冠をやや下向きに房になって咲き、上品な香りを漂わせます。

スイセンの花言葉は「自己愛」でギリシャ神話に登場するナルキッソスの自惚れの花と言われ、水辺を好んで咲く姿が、まるで自分の美しい姿を水面に映して見とれている様に見えるからでしょう。

原産地は地中海沿岸でシルクロードを経由して中国に入り、鎌倉時代に修行僧が日本に持ち帰ったという説や、中国から海流に乗って流れ着いたなど諸説があるようです。

スイセンの名の由来は、古代中国では水辺に生える植物を「水仙人」と呼んでいたことからついたそうです。ちなみに、球根や葉には毒があり、食用と間違えて食べて死亡した例もあるそうです。(安)

## コゲラ (小啄木鳥)

見次公園のボート小屋や水のでない噴水あたりで「ギイー」という短い声、あるいは「キィキィキィ」とか「キキキ」という強い声を聞いたことはありませんか。

声の主を捜してみるといきました。大きさはほぼスズメ程度。垂直に立つ木の幹や横に張り出した枝を器用に動き回っています。頭は灰色、背中は黒に白い横縞模様、お腹側は白っぽく、ノミのように鋭く上がった黒いクチバシが見えます。それが「コゲラ」です。名前にケラという



キツツキ(啄木鳥)科の総称が入っていることが示すように、キツツキの一種で、日本で生息しているキツツキ仲間では最小です。

コゲラは留鳥として平地や低山の林に生息する鳥ですが、最近では都市部でも繁殖するようになり、市街地や公園の樹木でも良く見られるようになっていきます。

見次公園を通る時は、ぜひ耳をそばだててコゲラの声を聞き、姿を見つけてください。(利)